五行歌の会	きんきサロン通信１月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.031　2025.01.11

2025 年　今年も元気に！

今年はヘビ年。「嫌われ者の蛇が何故干支に入っているの？」ある人の素朴なつぶやき。調べてみると「ヘビは脱皮を繰り返す生き物なので、古来、再生や新しい始まりを象徴するものとして神聖視された」。「脱皮・再生」の言葉は胸にグッときました。昨年きんきサロンには ２名の活動的で創作意欲に満ちた新人がご参加下さり、新しい年に向ってのワクワク感が、これまでになく高まっております。他方、ご家族の介護や、ご自身の健康不安など、心配な事柄を、メンバーの皆様は各々お持ちですけど、この一年、ゆっくりあわてず駆けださず、こけないように、ヘビが這うような地道な活動を目指してまいりましょう。

八坂さんへの初詣後、歌会前のランチ会、夕月さんのお店「冨久屋」で七草がゆとちょっと一杯、美味しくいただきました。

今月の１席はいぶやん氏、着眼が面白いと高点を集めました。２席は２首で、冬の日本海の荒波に能登地震を重ねあわせた城氏、日常アルアルの失敗をユーモアで包んだ往く春のみどり氏。３席は、枯葉を冬の蝶に見立てたこねこのこ氏でした。夕月様、往く春のみどり様、こねこのこ様、むつ子様、城様、ありがとう。　（いぶ記）

【313 回きんきサロン歌会結果】

１
金閣が
一番映えるのは
雪景色の中
モノクロの世界に
黄金一点
青藍 ９点

２
母と過ごす
穏やかな日々
柔軟な
こころで
今年は脱皮年
HIKARIKO 12 点

３
巳さんは　今
冬眠中
目覚めても
はしゃがず
穏やかに
黒田節子 ＊

4
白い波頭が
みるみる盛り上がり
ドドドドーン
一気に砕け散る
日本海の冬は痛い
　　城雅代 17 点 同点二席
5
ラララと
口ずさむと
心弾んだ
鉄腕アトムの歌
現実となった AI はどんな？
　　むつ子　＊
6
腕時計が電話になる
ドリーム計画
知ってから三十年
きっと来るぞ
人生百年時代
　　西村康則 7 点
7
カウントダウンのニューヨークシティ
百八つの煩悩いただく三井寺
お雑煮の香り漂う十畳間
孫が叫び跳ねる紅白
もうわからん
　　ほたるいかさだ＊
8
名もなき英雄に
捧げたい
心からの感謝を
あなた達が挑戦したから
今があると
　　小倉はじめ 8 点
9
窪みに
色とりどりの
落ち葉
かさこそ
今年を占う
　　玉虫 14 点 次点
10
蝶々が飛んできた
かと紛う
ちっちゃな枯葉
着地して
共にバスを待つ
　　こねこのこ 16 点 三席
11
人影の見えない
深夜の自販機
パネルの点滅信号で
なにやら月と
会話しているようだ
　　いぶやん 24 点 一席
12
モーニングの卵を
持ち帰る
ナプキンに塩も包む
バッグの中でばらまいた
とんだお清め
　　往く春のみどり 17 点 同二席
13
目が点
ドイツ観念論哲学書
ゆでたまごを
一口で
頬張った時の訳わからん感
　　天河童 13 点
14
炬燵に伸びる白猫よ
山里に濃い霧が
立ち込めるほど青空に
見よこの天晴れ元旦を
尻尾立てて擦り寄りにおいで
　　夕月　＊

■「＊」印は 5 点以下、点数非開示。
■（参加者：13 名）天河童・いぶやん・
小倉はじめ・黒田節子・こねこのこ・
城雅代・青藍・玉虫・西村康則・
ほたるいかさだ・むつ子・往く春のみどり・夕月　（歌のみ）HIKARIKO

連絡事項

■2 月例会は関西新春合同歌会が開催されるため休会です。
■3 月例会
・3 月 2 日（日）午後 1 時～午後 5 時
・会場「ウイングス京都第 4 会議室」
・歌会後半、小倉はじめさんの歌集『小倉はじめ百首』の鑑賞会を行います。詳細とテキストは、後日いぶやんから配信させていただきます。2 首選んでいただいて、感想を述べていただければと思います。